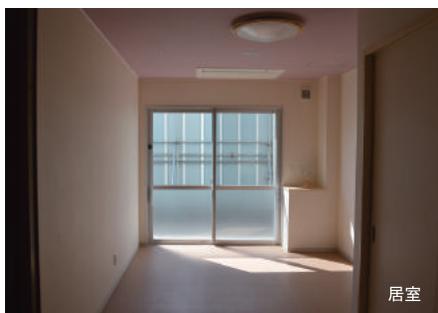


# なんかい、108号

2017年11月1日発行

南海寮 広報委員会  
熊本県天草市本町下河内1685番地の1  
TEL 0969-23-3850  
FAX 0969-22-4977  
Mail keiyukai@cup.ocn.ne.jp  
URL <http://www.nankairyu.or.jp/>

## 施設本館完成間近！



10月下旬、建築・消防等の諸検査が無事完了し、10月末より家具等の備品の搬入が始まりました。今月3日には引っ越しを行う予定で、利用者の皆さんも楽しみにされていた新しい建物での生活がいよいよスタートします。しかし、長年住み慣れた建物から、全く違う環境での生活がスタートする事となり、自身の居室やトイレ、食堂、お風呂の場所を覚えるなど、新しい環境に慣れるまでには時間を要される事と思います。1日でも早く利用者さんに暮らしやすさを実感して頂き、順応して頂けるよう、戸惑いや不安に対して最大限配慮をしていきたいと思ひます。

【今後のスケジュール】▶11月10日頃より旧本館の二次解体 ▶外構工事 ▶2月中旬頃竣工予定

## 共にくらし共にそだつ

支援員 櫻井 裕己

9月27日から3日間、名古屋にて全国大会が開催されました。「共にくらし、共にそだつ」のテーマで1日目は行政説明から始まり、障害保健福祉施策の歴史からサービス等の予算の推移についての話は、自身意識としてなかったため、興味深く聴く事ができ、大きな収穫でした。

また施設入所者の現状においては、重度化、高齢化の話にもふれられ、当施設においても直面する問題であり、支援面でもいろいろなりスクの増大が懸念されるため、より一層先を見据えての支援、又個々のニーズに合った支援が必要とされるのではないのでしょうか。

2日目の分科会では、良い支援者として育つためには、職員間の連携が必要不可欠であるとの事で、チームワークの重要性を再認識する事が出来ました。チームワークの良さがより良いサービスの提供につながり、これには質の高いアセス

メントが必要とされる、また情報の共有の大切さも痛感しました。唯一のグループワークであったワールドカフェに参加出来たのも貴重な体験でした。これはカフェのような雰囲気の中で、メンバーの組み合わせを変えながら話し合いを行うやり方で、自身戸惑いを感じながらの参加でしたが、意見交換を行うなかで様々な気づきを得ることができ、手ごたえを感じました。

3日目は「住民と共に作る住民のためのまちづくり」と言うテーマで講演がありました。これからはより一層地域に根ざした、又地域の中で暮らすと言うことを念頭に置いた施設づくりが求められてくるのではないのでしょうか。

最後に発達障害のピアニスト野田あすか氏のピアノ演奏がありとても素晴らしく感動しました。今回全国大会と言うことで期待に胸を膨らませての参加でしたが、様々な面で刺激を受け学んだ事も多く、今後の仕事にどう生かすかが課題だと思っております。「共にくらし共にそだつ」とは何かということを考えさせられた研修会でした。

## 後輩にとってのベストアドバイザーをめざして

支援員 大中 佑介

今回の研修では「部下、後輩のやる気と行動を引き出すには？」をテーマに、職場内環境の更なる改善と、チーム力を高めるためにはどうすれば良いか考える機会となりました。まず、リーダーがトレーニングを通し、部下や後輩、さらには自身のモチベーションを維持向上し、いかにチームモチベーションを高めていくのかを学び、リーダーに不可欠なスキル（上司の指示や意図を後輩職員へ伝える気を引き出す力）の向上と職場内の活性化を図る事が重要ではないかと感じました。また、グループワークを通し、人にはそれぞれ個性があり、コミュニケーションの傾向を見ても、「自己主張の大きい」「傾向を見ても、「自己主張の大・小」さらに「感情表現の大・小」を

かけ合わせ4パターンに形成され「結果を第一に、人からとやかく言われたくないタイプ」も居れば、真逆に「協調性を第一に、自身よりも他人の役に立ちたい

タイプ」も存在する事を学び、チーム内の活性化を高めるには、相手をよく見極めた上でその個人に応じた「言葉かけ」や関わり方を深めていく事が重要ではないかと思えます。さらには、今回の研修で「伝えること」の難しさも痛感しました。自分では要点を伝えたつもりでも相手には上手く伝わっていない、このようなケースが大きな事故に繋がってしまいます。だからこそ、常に確認する事が必要であり、「報告・連絡・相談」を密に行うことで安心安全にも繋がるのだと思います。

最後に、当事業所でも「人材育成」においては、重要な課題として取り組んでいます。後輩職員の良い所は「褒める」改善が必要な所は的確にアドバイスを行い、改善出来たら「認める」で、やる気を引き出す事に繋がるのではないかと思います。後輩に寄り添ったベストアドバイザーになる為にも、広い視点を持ち、場面に応じて「褒める」「認める」事を念頭に掲げモチベーション向上に努めていきたいと思えました。

## 日中活動プログラムと 活動編成についての検討会



建替え工事も大詰めを迎え、11月上旬頃より新本館への引っ越しを順次行っています。(第二期解体や外構工事等で竣工は2月頃予定) 利用者の皆さんにとっては、新たな環境での生活がいよいよスタートする中で、今回は従来行ってきた日課の在り方や活動編成、生活援助等について改めて考え、見直すための検討会を実施しました。事前アンケートや当日の検討会での議論も含め、様々な意見が出る中で、画期的な取り組みの提案も多々ありました。

今回のような検討会に限らず、日々変化する利用者さんの状態や、環境の変化に対して、日課や支援方法等の見直しを行うケースは日常的にあり、その都度検討を行い、朝礼や終礼、スタッフ会議の場で担当や係から、支援方法や、従来からの変更点・留意点などの申し送りがあります。

しかし、その申し送りの中でしばし

ば気になる事があります。アイデアや発想は熟考されているのに、「誰がいつやるのか、その方法で誰もが継続して実施できるか」という視点が欠如している場合があります。こういったケースの多くは、最初だけで、しばらくするといつの間にかやらなくなったという事が往々にしてあります。

特に利用者支援においては、担当職員や係などの特定の人だけが行う属人的なものではなく、一人の利用者に対して複数の支援者が関わるため、誰がやっても(新任・ベテラン関わらず)一定の成果が継続して出るようなマニュアル化や体制、業務のシステム化が重要です。建替えによるハード面の充実だけでなく、同じくソフト面も充実させていくためには、既成概念にとらわれない自由な発想や、創造的な取り組みももちろん大切ですが、その人の暮らしを支える活動やコンテンツとは何なのか、利用者支援の本質をしっかりと考えていきたいと思えます。

松浦光毅

## 虐待防止に関する 施設内研修



利用者の皆様に安心・安全に福祉サービスを利用して頂くために、またサービスの質の向上という視点からも、障がい者福祉施設にとって、働く人の人権意識や倫理感の向上と虐待防止への取り組みは不可欠なものとなっています。

最近では障がい者施設における虐待のニュースが度々報道される中、施設を利用されている方、家族を施設に預けられている方々は不安な日々を過ごされているのではないのでしょうか。職員一人ひとりが、私達の支援は大丈夫です！安心して下さい！と胸を張って言えるよう、人権倫理委員会として、今年4回の施設内研修を実施しています。

今年度2回目の研修会では、今年報道された施設における4件の虐待事件を事例として検証を行いました。それぞれの事案について、原因となった背景や、どのような事をすれば防げたの

かを考察し、さらに自分達の業務を振り返った中で、虐待に繋がりがねない事案がないか等について意見を出し合いました。

虐待は日常の様々な場面で起こる可能性があります。それゆえに、虐待とは何かという事を十分理解しておく事が防止の第一歩であり、常に質の高い支援を追及することが、結果として虐待を防止することにつながります。施設全体で虐待防止に取り組む事が、今後必要だと今回の研修を通して改めて感じる事が出来ました。また、今回の研修で終わりではなく、「これでいいか」「あの時はこうすればよかった」などを常に検証し、支援の振り返りを行っていききたいと思えます。

いよいよ11月から新しい建物での生活が始まります。建物に負けない位のサービスと新しい気持ちで、職員全員が業務にあたり、利用者、支援者が毎日キラキラした笑顔で過ごせるような施設になればと心を新たにしました。

松本かおり

# 旅行 (8~10月)

8月23~24日 天草一泊旅行、9月13~14日 天草一泊旅行、10月11~12日 阿蘇一泊旅行



# ニコリホットレポート

「ニコリホット」とは、日々の利用者さんの生活の中で、思わず「にこり」と笑顔になったり、「ホット」と安心できるようなポジティブな出来事。そんな心温まるエピソードをご紹介します。

季節も秋に変わり、Tシャツ1枚といういで立ちから、上着やシャツを重ねおしゃれを楽しめる季節となりました。そんな中、我が寮のおしゃれさんといえば…何人かの利用者さんの顔が浮かんできます。「洋服！」といえば、さくら棟の女性Hさん。ちょっと気分が落ち込んでいる時も、大好きな服の話になると、パッと表情が変わり笑顔がこぼれます。もちろん洋服のチェックも日夜行っておられます。

通所の男性Tさんは毎週金曜日「キメ」の赤い服での登場です。Tさんの赤い服を見ると「今日は金曜日だ」と曜日の確認が出来ます。でも、赤い服は、勝負服の赤？週末の締め赤？真相はまだ確認できていませんが素敵です。

ひまわり棟の男性Yさんは、あれ～？お風呂上りですが、入前と同じ服を着てませんか？いえいえ、お気に入りの赤色のシャツは1枚じゃありません。ちゃんと洗濯したての服を着ていますよ！毎日好きな服を着て過ごしたいですもんね。

ひまわり棟男性のHさんは普段からシャツとスラックスで過ごされています。寒くなると上にはジャケットを着て、時々トレンチコート姿も見かけられます。そういえば、スウェットやジャージ姿は見たことがありません。日々の服装にはHさんの個性が光っています。

ご紹介した利用者さん以外でも、お気に入りの服を着た日には「見てみて」と職員に会う度に服をアピールしたり、おしゃれに関心がある方がたくさんいらっしゃいます。自分のお気に入りの服や新しい服を着るとなんとなくウキウキしませんか？「似合いますね」と声を掛けられるとその日一日が楽しくすごせると思いませんか？おしゃれは日々の暮らしを豊かにしてくれます。私たち職員も、いつもジャージ姿で過ごすのではなく、たまにはおしゃれして気分を上げていきましょう！

(松下加津美)



さくら棟Hさん



ひまわり棟Tさん



ひまわり棟Yさん



ひまわり棟Hさん

## 天草医療・福祉合同企業説明会

9月10日、地元の高中生や看護学生を対象とした天草青年会議所主催の企業説明会が天草市民センターにて開催され、当法人も初めての試みでありましたが、法人PRも兼ねて出展致しました。

今この業界も人手不足で、より活躍する人材を確保したいと積極的に採用活動を行い、今や就職市場は「超売り手市場」と言われています。福祉の現場も例外ではなく、人材不足が深刻で、待っているだけでは良い人材は来てくれません。こちらから積極的に仕掛け、将来の担い手となる若者や学生を獲得していかなければなりません。今は福祉施設も一般企業と同じように合同説明会に参加したり、同業種での就職フェアなどを行ったりと、少しでも良い人材を獲得しようとする動きが見られるようになってきました。しかし、福祉施設の仕事と考えた時どうしても世間やメディアなどでも言われている「3K（きつい、汚い、給料が安い）」というマイナスイメージがあります。事実今回の説明を聞いてくれた高校生もそういうイメージを持たれている方がいました。でも実際はどうでしょうか。確かに3Kのような側面は、受け止め方によってはあるかもしれませんが、しかし、現場で働いている私達はそれを常を感じながら仕事をしているのでしょうか。もしそうであるならば、この仕事を続けることが出来ません。私達は今も日々利用者の方の支援をさせて頂いています。それは3K以上の喜びがこの仕事に感じられるからだと思えます。障がいのある方は一人では出来ないことがたくさんあります。その部分を私達が補うことで一緒に出来た、利用者の方と心が通じ合った時に見せる笑顔がなによりの喜びになり、この仕事のやりがいに繋がります。マイナスイメージの3Kを、福祉の仕事をしている私達がこれから変えていかなければならないと思えます。そしてたくさんの人に福祉の仕事の素晴らしさを分かって貰いたいです。

(松浦 徳彦)



## 通所センターだより



あちこちに熟した柿の実を見かけるようになった今日この頃、皆さんいかがお過ごしでしょうか。

いきなりですが、立派なバナナと季節はずれのスイカの事を紹介します。このバナナはKさんのご家族より頂いたもので、ハウスで作られているとの事です。店頭で見るバナナと違いますよね～。こんなに何本も一緒になっているなんて！と皆驚きです。50本はあったと思います。即興で脚立を準備して吊るし、熟したのから頂きました。とても甘くて美味しかったです。もう一つの果物スイカですが、これは正真正銘センター産です。真夏に美味しいスイカを頂き、その時「ぶ

っ」と吐いた種が芽を出していて、気付いたときには直径10cm程になっていました。こんな事もあるんだな～とビックリです。その後は大切に大切に見守っていると、何ともう一つのスイカを発見。15cm玉と20cm玉、全部で2玉の収穫となりました。味は期待していなかったのですが、なんと甘くてまたまたビックリでした。

センターには、ぶどう、キウイ、イチジク、ブルーベリーなども植えています。自然にまかせているからでしょうね～立派な実をつける事はほとんどありません(笑)でも、出来たものを少しずつ皆で食べて楽しんでいます。 京塚 香菜

### 職員研修会等参加報告

- |                        |        |
|------------------------|--------|
| ■ 初任者キャリアアップ研修 (8月)    | 松本昌    |
| ■ 発達障がい講演会 (8月)        | 田中     |
| ■ 相談支援従事初任者研修 (8月)     | 金子孝、坂本 |
| ■ 強度行動障害支援者基礎研修 (9月)   | 坂本、山本貴 |
| ■ 自閉症スペクトラムの特性と支援 (9月) | 金子孝    |
| ■ 全国知的障害者施設職員研究大会 (9月) | 田中、櫻井  |
| ■ リスクマネジメント研修 (10月)    | 高瀧     |

### 今後の予定

- 11月3日～ 利用者さん新本館へ引っ越し  
 11月18・19日 火の国ボランティアフェスティバル  
 11月23日 本町ふるさとまつり

### 編集後記

11月に入り秋本番となりました。秋といえば「読書の秋」「スポーツの秋」、もちろん「食欲の秋」が一番ではありますが…(笑)この時期の旅行会社のチラシを見ると、全国の紅葉の名所を回るツアーが写真とともに紹介され「どこかに出かけたい」と旅心をくすぐります。京都や日光、黒部立山等赤や黄色に彩られた景色を一度は見てみたいものです。ここ天草では山肌いっぱいの紅葉はあまり期待できませんが、それでも紅葉を楽しめる場所はあるんです。亀川ダムのみみじや西の久保公園の楓、わが寮の銀杏。それぞれの木々の葉が色づき目を楽しませてくれます。今月から引越しとなる新寮舎は2階建てです。2階の窓からはどんな紅葉が見れるでしょうか？高いところからの眺めは今までと違い、周りの山々の景色を四季を通じて楽しむことができる事でしょう。Kazumi



今年2月より起工した施設本館建て替え工事も早いもので完成を迎えつつあります。開所時より共に生活されている利用者の方も少なくなりましたが、多くの思い出と感謝の念は今でも途切れる事なく受け継がれています。年を重ねる毎に老朽化していく中で、解体は心苦しくもありますが、熊本地震では崩れる事なく、利用者の生命を守り続けて頂いた事に感謝します。42年もの長い年月を利用者と共に生活し、たくさんの思い出を残しつつ解体を迎えますが、感謝の思いを胸に、南海寮の良き伝統を絶やす事なく継承していきます。

「ありがとう」そして「お疲れさま」(大中佑介)



新任職員紹介【支援員】鶴戸 愛

利用者の皆さんが安心して生活できるように頑張ります。よろしくお願いします！

-----  
 退所/長尾クニエさん(上天草市) H. 29. 9. 27逝去